



ふきのとう便り

～一人はみんなのために みんなは一人のために～

2015年4月1日発行 NO. 23

社会福祉法人 ふきのとう TEL 0743-67-1099

天理市柳本町 2036 番地 1 HP <http://www.fukinotou.or.jp>

e-mail fukinotou1099@rondo.ocn.ne.jp 編集責任者 樋川統一

スパークルⅡ竣工式挨拶 (要旨)

理事長 松田 勝義

今日は悪天候の中、ご多忙のなか、竣工式にご臨席いただきありがとうございます。ごぞいます。

私、この体になってもう間もなく13年になります。この病気・この体になったときに生きる希望を持てませんでした。そんな私を見舞いに来てくれた人が「勇気も希望もなくともいい、ただ生きているだけでいい。生きていればそのうち何かいい事があるよ。」と言ってくれたその言葉と、私の子供は障害を持っていますのでこの子の為にも簡単には死ねない・・・という思いもあって今日まで頑張ってまいりました。

今年、日本は戦後70年になります。戦時中の日本では、徴兵制で、そのための検査がありました。その時に障害のある人は兵役を免除されました。しかしそれは天皇陛下の御用に立てないということであり、人からは非国民と呼ばれ、人間扱いをされない差別を受け、本人またその家族は辛い思いをして過ごさなければなりません。

戦後においても障害者に対する世間の見方はひどく、場合によっては出産した子供に障害があると分ると、親は将来を悲観して親子心中するということも珍しくありません。

そういう時代を超えて昭和22年5月3日、現在の

憲法が施行されました。

その憲法では全ての国民は自由・平等・・・と書かれています。しかし「全ての国民」の中には高齢者も障害者も含まれているのですが、実際は入っていないかのように扱われています。



戦後70年、学歴差別・職業差別・貧富の差別など様々な差別問題がありました。もちろん部落差別もあります。今でこそ差別とい

う言葉はあまり聞かれなくなりましたが、差別問題が渦巻いている時代に私は青春時代を過ごし、26・7歳の時に結婚してその次の年に子供が出来ました。その子が大きくなり学校に通う。当時の流れとしては、障害児への教育は無駄という差別的考えのもと、学校に行かなくても卒業できるものでした。しかし教育を受ける権利は障害児であっても平等にあるという考えが全国的に発展しそれを無視できないことから、行政・教育現場・保護者との話し合いの末、現在の障害者教育まで発展してまいりました。ここに至るまでには多くの人たちの努力があります。そしてそれを礎に私たちが引き継ぎ、更に発展させるための努力をしてきました。今後は次の世代の若い人たちに引き継ぎ、更なる発展を期待したいと思います。

これからも皆様のご尽力をいただきまして障害者・障害児が安心して、そして幸せに暮らせるような環境になるよう共に力を合わせてやっていけるよう祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

サントアースⅡでのひな祭り

サントアースⅡでは3月の雛祭りと一緒に何か季節を感じられるものを作りたいと考え、雛段がある雛飾りになりました。



材料は段ボールや牛乳パックと定番の物から和の雰囲気を出すのに竹を使おうと実際に竹を切り落としたり、顔部分にはカプセルを使おうと、スーパーなどのゲームコーナーで分けてもらえないか聞いたりと材料集めにも苦労しました。

それらを使ってメンバーそれぞれがどうすれば、人形っぽく見えるか、髪や服はどうするのか色々考え、苦戦しながらも人形を作ってくれました。みんなでアイデアを出し、時に失敗もしつつ頑張って作ったので、立派なもののできたと思っています。

さらに地域の方から頂いた馬酔木の花を飾り、一層賑やかになりました。

サントアースⅡではこれからも季節に合わせた飾り物を作り、思い出を増やしていきたいと考えています。機会があればぜひ見に来てください。



こんなことをしています！



新しいスタッフのご紹介

福本 裕子

2月より新しくスタッフとしてお世話になっております。

新しい事ばかりで日々勉強です。まだまだ未熟ですが、一人一人充実した日常生活を送れるようお手伝いしたいと思います。宜しくお願いします。

澤井 英次

2月から入社しました澤井です。

初日はとても不安でうまくやっていけるかと心配していましたが、入ってきてすぐの自分にメンバーの皆が優しく話しかけてくれてとてもうれしかったです。

ふきのとうでは一カ月程度でしたが日中の活動やお昼の散歩などたくさんの思い出を作ることが出来ました。またイベントなどで一緒に過ごすときがあればみんなと楽しみたいと思います。

山本 千代

3月23日からふきのとうでお世話になることになりました山本です。

2月末まで小学校で1年生と一緒に勉強したり遊んだり困ったときお助けをしたりする仕事をしていました。

その経験を活かし、ここふきのとうでも楽しく一緒に作業し、たくさんお役に立てるよう努力したいと思います。これからよろしくお願ひいたします

和田 翔希

大学を卒業してから初めての社会とで、まだまだわからないことも多く、緊張でいっぱいですが、今まで学んだことや経験を活かせるようにしたいです。また、毎日のコミュニケーションを大切に、一人一人の個性などについても知っていけるよう、振り返りや反省を忘れず、より良い関わりができるよう努力していきますので、どうぞ宜しくお願いします。